



# 協働のまちづくりアドバイザー 活動報告

令和8年5月23日

協働のまちづくりアドバイザー  
松浦昌巳





## 目的

組織や事業運営の改善・強化を図るため、  
外部人材であるアドバイザー5名が、  
それぞれの実情に応じた伴走支援を実施すること。

## 主な支援テーマ

- ▶ 合意形成・話し合いの場づくり
- ▶ 組織運営・体制づくり
- ▶ 業務効率化(広報・情報発信・DX)
- ▶ 事業構想・アイデアづくり



※事例集については  
こちらから

# 支援実績



支援まち協	担当	支援内容
東山	川端	地域の象徴的な取り組みを含めた事業継続の見直し
葛ヶ丘	松浦	地区の現状と将来像を整理するためのまちづくりワークショップ
倉真	長濱	情報発信の整理を通じて、業務負担の軽減を図るための支援
西郷	杉山	地域資源を生かした事業構想支援
西郷	芳川	申込・施設管理業務を見直し、事務局負担を軽減するための支援
原泉	松浦	地区の現状と将来像を整理するためのまちづくりワークショップ
原谷	松浦	草刈り活動におけるNPO法人化
曾我	長濱	情報共有の仕組みづくり支援
中	芳川	住民アンケートを活用した計画づくり支援
大須賀第二	川端	住民の声を起点とした、組織・事業運営改善支援

※担当・・・支援を担当したアドバイザーを指します。

# 事例紹介1(葛ヶ丘地区まちづくり協議会)



## 課題

---

- ・役員のなり手不足
- ・住民参加率の低下
- ・事業のマンネリ化
- ・地区まちづくり計画の更新 など

## 支援の狙い

---

- ・いきなり結論を出さない
- ・まず現状や課題を整理する
- ・今後の方向性を考えるための土台作り

# 具体的な支援内容



## 【 ワークショップ内容 】

- ・3つのテーマに関する話し合い
  - テーマ① 葛ヶ丘地区のあるもの
  - テーマ② 葛ヶ丘地区にほしいもの
  - テーマ③ みらいの葛ヶ丘を考えよう

## 【 参加者 】 約25名

まち協役員、区・小区長、PTA、各クラブ代表 他  
⇒まちづくり協議会として、多様な立場の視点を  
含めて地域の状況を整理するため

# 事例紹介2(西郷地区まちづくり協議会)



## 課題

- ・教室やイベントの申込受付
  - ・施設利用の申請や空き状況の確認
  - ・突発的なキャンセルや変更への対応
- ⇒事務局が日常的な対応に時間と労力を要していた。

## 支援の狙い

- ・事務局業務の棚卸を行う。
- ・デジタルを活用し、  
無理なく事務局運営が続けられるようDX化を図る。

# 具体的な支援内容①



## — 申し込み・広報業務の見直し —

### 実施した支援

- ・事務局業務の棚卸結果をもとに、申し込み業務を整理
- ・Googleフォームを活用した申し込み方法の作成支援
- ・Canva(Webデザイン作成ツール)を活用した

チラシ・案内文の作成方法を整理

### 期待される効果

- ・電話等による随時対応の削減
  - ・申し込み内容の自動集計による事務作業の整理
- ⇒ 申込受付から集計までの業務の流れが整理され、

事務局内での業務の進め方を見直すきっかけとなる



## — 施設予約の新システム移行 —

### 実施した支援

- ・施設予約業務における全体の流れを整理
  - ・紙や電話中心の予約方法の課題を整理
- ⇒ 予約管理システムを活用した新たな仕組みを検討

### 期待される効果

- ・空き状況確認や予約管理の簡素化
- ・特定の人に負担や対応が集中しにくい運営の構築



## 事例から見えたポイント

---

- ・現状に合った運営へ見直していくことが重要
- ・人が減っても続けられる形を整える

## アドバイザー派遣の活用

---

- ・大きな課題解決だけでなく  
「考えるきっかけ」としても活用できる
- ・「うまく回らなくなってきたと  
感じたタイミングで有効



## 対象団体の拡充と申請

- ・今年度から自治区やNPO法人、  
市民活動団体も派遣対象
- ・第2期申請期限:6月30日(火)※申請は第5期まで

※事業詳細



## 協働アドバイザーへの派遣事業以外の相談の場

事業名「ふらっとオープンルーム for まち協」  
奇数月の第3木曜日13時30分～15時30分  
(各回アドバイザー1名)

※事業詳細



ご清聴ありがとうございました

